



学校歯科健診で歯並びについて指摘された！

No.78

新学期に入り、学校歯科健診を行ったお子さんも多いのではないのでしょうか。学校からもらった健診結果について、むし歯の項目はもちろんですが歯並びの項目もご家族の方々にとっては気になるところかと思えます。



特に小学校入学後の6歳から9歳くらいの時期は乳歯の奥から第一大臼歯(6歳臼歯)が生えてきたり、また前歯は乳歯から永久歯に生え変わる時期であり、お口の中の環境が大きく変化する時期であるといえます。そのため幼稚園や保育園などの歯科健診では歯並びについて一度も指摘されなかったのに、小学校に入学したとたんに指摘されるようになったということも多く聞かれます。ご家族の方々もむし歯の治療と異なり、歯並びや歯列矯正治療についてあまり馴染みがないということが多いようです。うちの子の歯並びはどうなのか？矯正治療は必要なのか？いつくらいから始めるのがいいのか？どんな矯正装置を用いるのか？などなど・・・正直わからないことだらけかもしれません。

ではこの時期の歯並びについてどのようなところをチェックしたらよいのでしょうか？



小学校低学年のうちにチェックしておきたい歯並びと咬み合わせのポイント(日本臨床矯正歯科医会 監修)

- 乳歯の奥に生えてくる第一大臼歯が正常に生えてきたかどうか
- 上の2本の前歯の間にいつまでもすき間が残っていないか
- 乳歯の前歯がいつまでも抜けずに残っていないか
- 側切歯(中央から2番目の永久歯)の生えてくる場所がなく、歯列からはみ出すように生えていないか
- 前歯の咬み合わせが上下で反対になっていないか(受け口)
- 下の前歯に比べて上の前歯が大きく前に出ているか(出っ歯)
- 奥歯を咬み合わせたときに、上下の前歯が咬み合わず、すき間ができていないか(開咬)

いかがでしたか？これらのチェックポイントのうち、心配な点などありましたらかかりつけの歯医者さんや矯正専門の歯医者さんに相談してみましょう。

歯並びや咬み合わせの状態によっては早めに矯正治療を始めたほうが良い場合もありますし、もう少し大人の歯の生え変わりが進んだ状態から始めても問題ない場合もあります。お子さんの大人の歯の生え変わりや歯並びについて気になることや不安なことがありましたら、学校歯科健診の終わったこの時期は歯医者さんに聞いてみるちょうどいい時期なのかもしれませんね。

